



原子力長計 市民ウォッチング

2004年11月19日

原子力委員会 委員長
新計画策定会議 議長 近藤駿介様

要請書

市民の意見を長計策定会議の審議に反映し、パブリックコメントを早急に行ってください。

策定会議で市民の意見*を議題として取り上げ、審議に付託することが原子力委員会の責務であり、議長の責務です。

しかし、新計画策定会議では、今まで一度も市民の意見が審議されたことがありません。

先日の核燃料サイクル政策の中間とりまとめは国民の理解を得たものではなく、地元青森県民の意思を反映したものにはなっていません。

国民の意見を審議し、論理的に議論をし尽くした政策でなければ、広く国民の理解を得ることはできません。

原子力委員会は審議の進め方として、「意見募集や市民参加懇談会の開催等により幅広く国民の意見を聴取して、これを審議に反映させる」と明言しています（6月15日決定「審議の進め方」による）。この公約は、国民の意見が策定会議の議題に正式に掲げられ、審議に付託されることではじめて実現に向かいます。

よって、以下の要請をいたします。

要請

1. 原子力委員会は、市民の意見が策定会議で審議できるよう、順次議題として取り上げ、審議の時間を設けることを要請します。
2. 審議で議論された意見の採用、不採用については、論理的に透明性を持って広く国民に公表することを要請します。
3. パブリックコメント（意見募集）を早急に行い、その内容を審議することを要請します。

*市民の意見とは——「市民参加懇談会」と「ご意見を聴く会」で示された全ての意見や要請、また市民から長計策定にあたって寄せられた意見書、要請書、要望書などを意味します。

原子力長計 市民ウォッチング——民主的・論理的、そして透明な長計策定プロセスをめざして